

10/3 朝日

学術会議 会長に光石氏

拒否6人の任命「求めていく」

日本学術会議は2日、総会を開いて会長選を行

い、独立行政法人・大学

否問題など課題が山積するなか、難しいかじ取りを迫られる。

今回の会長選は、梶田隆章・前会長の任期が先月末に切れたことを受けたもの。午前中に政府から辞令を受けた新会員105人を含む203人の

現在、内閣府の有識者懇談会が学術会議を国のから切り離して法人化するのかなどを議論している。

光石新会長は「前期執行部の姿勢を引き継ぎ、主張するべきは主張したい。任命拒否の6人についても、改めて任命を求めていく」と述べた。

改革支援・学位授与機構理事で東京大名誉教授の光石衛氏(67)が機械工学科を新会長に選んだ。3日には副会長ら新執行部の顔ぶれが決まる。学術会議の「あり方」や任命拒否が会員のうち、出席した1

60人が投票した。任期は3年。

光石氏は岡山県の生まれ。専門はロボット工学で、各種の手術支援ロボットなどの開発に力を注いだ。東京大では工学部長、副学長を歴任した。

3年前、当時の菅義偉首相が会員候補6人の任命を拒否し、学術会議側が「学問の自由が奪かされる」と反発。政府・与党は論点をすらす形で、学術会議の組織や運営の問題を持ち出した。

(村山知博、阿部聰志)